

安全データシート

1. 製品及び会社情報

		会 社	日本ジコウ株式会社			
		住 所	神戸市西区南別府1-14-6			
		担当部門	技術企画部			
		電話番号	078-974-2909	FAX番号	078-974-8631	
		緊急連絡先	担当部門に同じ			
整理番号：	2925-4890	改訂日	2018年	1月	30日	
		作成日	2018年	1月	30日	

整理番号：2925-4890

製品名
(化学名, 商品名) ジック防錆エポ専用シンナー

2. 危険有害性の要約

GHS分類：		
引火性液体	区分2	
急性毒性（経口）	区分4	
急性毒性（経皮）	区分4	
急性毒性（吸入：気体）	区分外	
急性毒性（吸入：蒸気）	区分3	
急性毒性（吸入：粉塵及びミスト）	区分外	
皮膚腐食性／刺激性	区分2	
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2A	
呼吸器感作性	区分外	
皮膚感作性	区分1	
生殖細胞変異原性	区分2	
発がん性	区分2	
生殖毒性	区分1A	追加区分：授乳に対する又は授乳を介した影響
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1	（中枢神経系、呼吸器）
	区分2	（腎臓）
	区分3	（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	（中枢神経系、末梢神経、骨格）
		（腎臓、血液系）
吸引性呼吸器有害性	区分2	
水生環境有害性（急性）	区分2	
水生環境有害性（慢性）	区分外	
オゾン層への有害性	分類できない	

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示



・注意喚起語

危険

・危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
吸入すると有毒（蒸気）
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性のおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ。授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
臓器の障害
呼吸器への刺激のおそれ、または眠気及びめまいのおそれ
長期又は反復暴露による臓器の障害
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性

・注意事項（GHS対応表記）

安全対策 取り扱いに際しては本SDSに従うこと。使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
熱/火花/高温の物/裸火のような着火源から遠ざけること-禁煙。
静電気に対する対策を講じ、防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。
使用済みのウエス/塗料クズ/スプレーダスト等は、廃棄するまで水に浸けること。
換気の良い場所でのみ使用すること。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。（送気マスク等）
この製品の使用中に、飲食/喫煙をしないこと。
眼/皮膚/衣類に付けないこと。
取り扱い後は手を良く洗う事。

救急措置	保護衣/保護手袋/保護めがね/保護マスクを着用すること。(不浸透性又は有機溶剤用) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。再使用時は洗濯すること。 緊急時を除き、環境への放出を避けること。
	飲み込んだ場合は、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合は、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。 皮膚に付着した場合、皮膚を多量の流水/シャワー/石鹸で洗うこと。多量の水と石鹸で洗うこと。 吸入した場合、災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
保管	呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。 火災の場合は、SDS「5. 火災の処置」に記載の消火剤を消化に使用すること。 火災の場合は、消火に炭酸ガス/泡/粉末/乾燥砂を使用すること。
	施錠して保管すること。 容器を密閉し、涼しい場所/換気のよい場所で保管すること
廃棄	内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：			混合物				
化学名：			シンナー				
成分及び含有量（通知すべき物質及び、0.1%以上含有し混合物の区分に影響する物質を対象）							
成	分	名	C A S No.	含有量(重量%)	PRTR法	労安法通知	特化則
トルエン			108-88-3	33	1種 # 300	≧0.1	
シクロヘキサノン			108-94-1	30～35		≧0.1	
メチルエチルケトン			78-93-3	10～15		≧0.1	
メチルイソブチルケトン			108-10-1	5～10		≧0.1	
アセトン			67-64-1	5～10		≧0.1	
ブチルセロソルブ			111-76-2	5～10		≧0.1	

4. 応急措置

目に入った場合：	・ 清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。 ・ 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
皮膚に付着した場合：	・ 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。 ・ 皮膚を多量の流水/シャワー/石鹸で洗うこと。多量の水と石鹸で洗うこと。 ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯/汚染の除去をすること。 ・ 皮膚刺激/発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合：	・ 呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。 ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：	・ 直ちに医師に連絡し、無理に吐かせないこと。
暴露の懸念がある場合	・ 医師に連絡し診断/手当を受けること。
暴露した場合	

5. 火災時の措置

消火方法： ・ 適切な保護具（耐熱性着衣/保護メガネ/呼吸器用保護具など）を着用する。
・ 指定の消火剤を使用すること。水を消火に用いてはならない。
・ 消火活動は風上から行う。 破裂のおそれがある場合十分に距離を取る。
・ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

消火剤： 水 []，二酸化炭素 [O]，泡 [O]，粉末 [O]，乾燥砂 []，
その他（油火災用消火剤）

使ってはならない 水
消火剤：

火災特有の危険： 燃焼ガスには一酸化炭素等の有害ガスが含まれ場合があるため吸入を避ける。
有害性情報： 内容液は極めて燃えやすい、熱、火炎、火花で容易に引火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置： ・ 作業の際には、適切な保護具を着用する。（不浸透性手袋、有機溶剤用保護マスク、エプロン、ゴーグル等）
環境に対する注意事項： ・ 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
・ 付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
・ 河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。
回収、中和： ・ 少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
・ 大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。
・ 衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・ 流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 取り扱いに際しては、本SDSに従うこと。使用前に安全注意を読み理解すること。
過去にアレルギー症状を経験している人は、取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。熱/火花/高温の物/裸火のような着火源から遠ざけること-禁煙。

静電気に対する対策を講じ、防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。
使用済みのウェス/塗料クズ/スプレーダスト等は、廃棄するまで水に浸けること。
換気の良い場所でのみ使用すること。粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。（送気マスク等）
この製品の使用中に、飲食/喫煙をしないこと。
眼/皮膚/衣類に付けないこと。取り扱い後は手を良く洗う事。

保護衣/保護手袋/保護めがね/保護マスクを着用すること。（不浸透性又は有機溶剤用）

取り扱い後は、手、顔など良く洗い、休憩所などに、手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

環境への放出を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（再使用時は要洗濯）

保管： ・ 日光の直射を避ける。
・ 通気性の良い所に保管する。
・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
・ 施錠して保管すること。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準					
物質名	管理濃度	許容濃度	許容濃度	IARC	急性毒性（経口）
	労安法 作業環境	日本産業 衛生学会	ACGIH (TLV-TWA)		
トルエン	20ppm	50ppm	50ppm	3	LD50 5000mg/kg(rat)
シクロヘキサノン	20ppm	25ppm	20ppm	3	LD50 800mg/kg(rat)
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm	200ppm		LD50 2483mg/kg(rat)
メチルイソブチルケトン	20ppm	50ppm	50ppm	2B	LD50 2080mg/kg(rat)
アセトン	35ppm	200ppm	500ppm		
ブチルセロソルブ	25ppm		20ppm	3	LD50 470mg/kg(rat)

設備対策

- ・ 取り扱い設備は防爆型を使用する。
- ・ 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・ 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置については、アースを取るよう設備する。
- ・ 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とする。
- ・ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により、作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
- ・ タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所 特に底部まで十分に換気が出来する装置を取り付けること。

保護具

- ・ 眼の保護： 取り扱いには、保護メガネを着用する。
- ・ 皮膚の保護： 有機溶剤又は化学薬品等が浸透しない保護衣/保護手袋を着用する。
- ・ 呼吸器系の保護： 有機ガス用防毒マスク等、適切な保護具を着用する。
密閉された場所では、送気マスクを着用する。
- ・ その他の保護： 静電塗装を行う場合は、通電靴を着用する。

適切な衛生対策

この製品の使用中に、飲食/喫煙をしないこと。
取り扱い後は手を良く洗う事。

9. 物理的及び化学的性質

外 観：	透明色／液状
臭 い：	有機溶剤臭
p H：	データなし
凝固点：	データなし
融 点：	データなし
初留点と沸点範囲：	5 6 . 5 ～ 1 7 1 . 2 °C
引火点：	4 °C
蒸発速度：	データなし
引火または爆発範囲の上限/下限：	1 . 1 ～ 1 2 . 8 %
揮発性：	含有する溶剤は揮発性有り
蒸気圧：	2 4 0 3 7 P a / (2 0 °C)
蒸気密度：	データなし
密 度：	約 0 . 8 8 g / c m ³ (2 0 °C)
溶解性：	データなし
オクタノール/水分配係数：	データなし
発火点：	2 4 0 °C
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	：	高温で反応するおそれがある。
反応可能性	：	酸化剤との接触により発熱のおそれがある。
その他情報	：	燃焼するとCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

別紙

12. 環境影響情報

生態毒性/残留性・分解性/生態蓄積性/土壌中の移動性/オゾン層への有害性：
：混合物としての情報無し。製品としての安全性試験は行っていない。

成分の環境有害性情報

成 分 名	水生環境有害性		その他環境影響情報
	(急性)	(慢性、長期間)	
トルエン	区分2	区分外	良分解性
シクロヘキサノン	区分外	区分外	良分解性
メチルエチルケトン	区分外	区分外	良分解性
メチルイソブチルケトン	区分外	区分外	良分解性
アセトン	区分外	区分外	良分解性
ブチルセロソルブ	区分外	区分外	良分解性

－：分類対象外、または区分対象外、不明

廃棄：漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取り扱いに注意すること。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：・廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。
・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
・廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土に吸着させて、開放型の焼却炉で少しずつ焼却する、又、有毒ガスを発生するため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。
・塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法規に準じて行うこと。

汚染容器・包装：残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

共通：取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送：消防法、労働安全法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。

国際海上危険物規則：3.2 中引火点引火性液体 (IMDG Code 3.2)

国際航空運送協会危険物規則：3 引火性液体類 (IATA-DGR Code 3)

国連番号：1263 (指針番号128) (UN Number 1263)

正式輸送品目名：PAINT RELATED MATERIAL (P. S. N PAINT RELATED MATERIAL)

国連分類：クラス 3 (引火性液体類) (UN Hazard class 3) GHS区分2

容器等級(国連包装等級)：II (UN Pack Group II, PG II)

15. 適用法令

労働安全衛生法（第57条）名称を表示すべき危険物及び有害物質
(混合物について、ラベルへの成分表示義務は削除されました)

労働安全衛生法（第57条の2）* 名称を通知すべき危険物及び有害物質
労働安全衛生法施行令 引火性のもの
有機溶剤中毒予防規則(有機則) 第2種有機溶剤等
特定化学物質等障害予防規則* (特化則) メチルイソブチルケトン(第2類)、
トルエン(第1種)

化学物質把握管理促進法* (PRTR法/化管法)

消 防 法 危険物第4類 第1石油類 (非水溶性) 危険等級II
船舶安全法 引火性液体類
海洋汚染防止法 施行令別表第一の四, 他

*詳細は2ページ「3. 組成・成分情報」欄へ

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。

また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

本SDSは、新しい知見などにより予告なしに改定することがあります。

この安全情報は国の規制を含む、(社)日本塗料工業会及び(独)製品評価技術基盤機構の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていません。

安全作業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。

〔主な引用文献〕

- | | |
|------------------------|---|
| ・ 日本工業標準調査会 | : JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学物質等の分類方法 |
| | : JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 |
| ・ (独)製品評価技術基盤機構(NITE) | : 化学物質総合情報提供システム GHS分類結果 |
| ・ 経済産業省 | : 事業者向けGHS 分類ガイダンスVer1.1 |
| | : GHS混合物分類判定システム(化学物質データ) |
| ・ 厚生労働省 | : 職場のあんぜんサイト GHS対応モデルラベル/モデルSDS |
| ・ GHS関係省庁連絡会議 | : GHS改定4版(仮訳)、改訂5版(仮訳) |
| ・ 日本塗料工業会 | : GHS対応SDS/ラベル作成ガイドブック改訂第2版 |
| ・ I C S C 国際化学物質安全性カード | ・ 緊急時応急措置指針 |
| | ・ 原材料メーカーSDS |
-